

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上 貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	須田恭平
学籍番号	1018097
クラス	C
現時点における学習目標は何ですか。 (複数回答可) プロジェクト学習を通じて習得したい事柄を選んでください。	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。 (自由記述 200 文字以上)	上記の目標達成のためには、積極的に活動する必要があると考えます。複数人で作業する際にはリーダーに進行をすべて投げるのではなく、自分からもできることを探し提案したりする必要があります。また、学生同士のコミュニケーションでは作業の進行具合を聞くなどして、つまづいているときには助けたり、自分が困っているときには聞いて助けを求めたりします。教員とのコミュニケーションではプロジェクトの報告だけでなく作業で行き詰った個所を積極的に相談するなどして進めたいと考えています。
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	あまりできない
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	できる
証拠に基づいて意見を述べることができる	あまりできない
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	まあまあできる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	あまりできない

さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	まあまあできる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	できる
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	よくできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	できる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	できる
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	できる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	あまりできない
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	できない
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる
他者を信頼し、共感することができる	まあまあできる

活動を粘り強く行うために必要な集中 力がある	まあまあできる
情報を批判的かつ入念に検討し、評価 できる	まあまあできる